

2018 年 6 月 15 日

関係各位

宇部興産株式会社
代表取締役社長 山本 謙
(コード: 4208 東証第 1 部・福証)
問合せ先 IR 広報部長 石川 博隆
(TEL 03-5419-6110)

ISS レポートに対する当社の見解について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2018 年 6 月 28 日に開催予定の当社第 112 回定時株主総会の第 3 号議案「取締役 8 名選任の件」に関し、議決権行使助言会社 Institutional Shareholder Services 社（以下「ISS 社」）が、候補者である竹下道夫氏（現 取締役会長）及び山本謙氏（現 代表取締役社長）への反対を推奨しているとの情報を入手し、その内容を確認いたしました。

つきましては、下記のとおり当該反対推奨に対する当社取締役会の見解を述べさせていただきますので、改めて当該議案へのご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. ISS の見解

当社グループにおいて、低密度ポリエチレン製品および石灰石骨材等の品質に関する不適切行為（「不適切行為」）について、経営トップは責任を負うべきであり、竹下氏・山本氏の再任に反対を推奨する。

2. 当社取締役会の見解

主に以下の 3 点より、竹下氏及び山本氏が取締役候補者として適任だと考えております。

(1) 竹下氏及び山本氏と不正事案の関連性

調査委員会報告書にも記載のとおり、両氏の直接的な不適切行為への関与はありません。ただし、本事案においてステークホルダーの皆様に多大なるご迷惑をお掛けした事態を真摯に受け止め、経営責任を明確にするために、下記の通り、役員報酬の減額を決議しております。

取締役選任議案は独立性の高い社外取締役 4 人（67%）が委員となっている指名委員会によって審議し取締役会に提案され、半数を社外取締役が占める取締役会で決議しており、客観的かつ公正な決定をしております。

(ご参考；役員報酬の減額に関するお知らせ)

http://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/news/2018/pdf/20180607_03.pdf

(2) 再発防止策の策定

調査報告書を受けて、以下の再発防止策を策定致しました。

- I. 取締役会における品質に係るガバナンスの強化
- II. 経営陣における品質重視の姿勢の明確化と意識改革に向けた取組み
- III. 当社グループ構成員の意識・風土改革の断行
- IV. 当社グループの品質保証に関する統制・連携強化に向けた組織再編
- V. 品質に関わる監査強化

(ご参考：品質検査上の不適切行為に関する再発防止策について)

http://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/news/2018/pdf/20180607_02.pdf

上記再発防止策につきましては、ステークホルダーの皆様の信頼を早期に回復すべく、両氏主導のもと、既に組織再編や指針の策定などを開始しております。また、2017年度は経常利益、当期純利益は過去最高益となり、今年度は中期経営計画である「Change & Challenge 2018」の最終年度を迎えております。

これらの「品質改善（再発防止策の着実な実行）」と「中期経営計画」の完遂こそが、企業価値向上に資するものだと確信しており、ひいては株主価値向上に繋がるものであると考えております。

当社指名委員会は、竹下氏及び山本氏の両氏に対して強いリーダーシップを発揮し、上記施策の着実な完遂へ導くことを期待して指名しており、当社取締役会はこれに賛同し、両氏を本株主総会における取締役候補者と致しました。

(3) 継続的な施策進捗の開示

上記の施策に取り組むと同時に、継続的に進捗状況を開示する事でステークホルダーの皆様への説明責任を果たして参りたいと考えております（当社ホームページに本事案に係る専用ページを設置済み）。

加えて、株主の皆様にはエンゲージメント（対話）を通じて、意見等を頂戴していく中で、品質改善や企業価値向上にむけた最適な取組みを模索していきたいと存じます。

3. 最後に

当社では本不適切行為について、極めて重要なことと受け止めており、これまでも調査委員会の調査に全面的に協力してまいりました。また、調査委員会からの提言を真摯に受け止め、上記の再発防止策を策定しております。

これらの再発防止策を着実に実行し、ガバナンスの向上と品質管理体制の強化を図り、企業価値向上につなげることが当社ならびに取締役会の重要な責任だと考えております。株主の皆様には、今後の当社の取組みをご評価頂きたく、ご理解のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

以上